

令和 5 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

まちづくり目標	ともにつくるまち	政策名	市民が主人公のまちづくり						
施 策 No.	1	施 策 名	市民参画・協働の推進						
主管課名	地域協働課								
関係課名	企画政策課、総務課、市民課								
10年後の 目指す姿	市民が主役となったまちづくりが進められています。								
施策の現状 及び課題	現 状	・多様化する地域のニーズを市民自らが解決できるよう地域のリーダーの育成支援に取り組んでいます。 ・市内13地区の地域振興会を中心に協働体制の強靱化と地域の活性化に取り組んでいます。 ・人権の尊重と、平和に対する意識向上に努めています。							
	課 題	・市民一人一人が市政運営に参画する意識の高揚と広い分野への参加の促進に取り組むとともに、地域のリーダーの発掘、育成が求められています。 ・地域課題解決のため、地域振興会を中心とした地域づくりと、市民としての役割を自覚するとともに、あらゆる分野における男女共同参画意識の啓発を行う必要があります。 ・市民が人権尊重の理念を正しく理解し、他人への思いやりの心を育むとともに、平和に対する意識を高める必要があります。							
施策を進めるための 役割分担	行 政	・市民が主役となって活躍できる環境を整えます。 ・地域の課題解決に自ら取り組む各種団体の支援と、男女共同参画社会の実現を推進します。 ・人権の尊重と恒久平和のため、人権擁護と非核・平和事業を推進します。							
	市 民 ・ 事 業 所	・世代を問わず、お互い助け合い、地域の課題解決に主体的に取り組めます。 ・自ら長所を活かせる地域活動への積極的な参加と男女共同参画の目的を理解し実践します。 ・人権の大切さを理解し、平和な社会の一員となります。							
目指す姿の実 現のための取 組 (基本事業)	基本事業①	市民参画の環境づくり							
	基本事業②	市民協働活動・男女共同参画の推進							
	基本事業③	人権の尊重と非核・平和							
	基本事業④								
施策の トータルコスト	区 分		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数		本	16 (14)	17 (14)	17 (14)			
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	7 (5)	8 (5)	9 (6)			
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	7 (7)	7 (7)	6 (6)			
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	2 (2)	2 (2)	2 (2)			
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	B. 事業費（事務事業の事業費合計）		千円	168,623	198,034	197,636			
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計		千円	140,088	152,313	139,306			
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計		千円	28,209	44,815	58,009			
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計		千円	326	906	321			
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計		千円						
	C. 施策に携わる正規職員数合計		人	32	44	52			
	D. 事務事業に要する年間総時間		時間	12,100	12,070	12,650			
E. 人件費（D×1時間あたりの平均人件費）		千円	47,468	46,783	50,043				
F. トータルコスト（B+E）		千円	216,091	244,817	247,679				
効 率 性 指 標	市民1人あたりにおける施策の								
	G. 事業費（定義式：B／人口）		円	4,166	4,961	5,032			
	同 上		円	1,173	1,172	1,274			
	H. 人件費（定義式：E／人口）								
	同 上		円	5,339	6,133	6,306			
I. トータルコスト（定義式：F／人口）									
参 考	1時間あたりの平均人件費		円	3,923	3,876	3,956			
	魚津市の人口(各年度12月末時点)		人	40,477	39,919	39,274			

基本事業概要シート①

施策 No.	1	施策名	市民参画・協働の推進
基本事業名	①市民参画の環境づくり		
基本事業の目的(意図)	市民自治の一層の進展のために、市民・議会・行政がそれぞれの役割と責任を明確にし、市民が市政に意見を反映できる参画機会の充実に図ります。		
令和5年度における 主な事業内容(活動内容)	【住民自治推進事業】 ・地域振興会の会長で組織される「魚津市自治振興会連合会」と市との意見・情報交換等を役員会・定例会として11回行いました。 ・自治振興会連合会でコミュニティセンター化や地域づくり活動をテーマに新潟県村上市と妙高市へ先進地視察研修を実施しました。 ・令和6年4月の市内全地区の公民館のコミュニティセンター化に向けて、コミュニティセンター検討委員会を設置して課題等について協議するとともに、自治振興会連合会にも情報共有し、協議を重ねました。 ・コミュニティセンターとなった村木地域振興会(令和4年度)と上野方地域振興会(令和5年度)へ、地域雇用に関する事務処理等のサポートを行いました。 【うおづまちづくりふれあい講座事業】 ・うおづまちづくりふれあい講座として、「魚津市の防災対策」等の講座を38回開催し、715名が受講しました。 【まちづくり交付金事業(地域特性事業)】 ・まちづくり交付金事業に対して交付する「まちづくり交付金」について、市内13地区の地域振興会に交付しました。 【地域拠点施設整備事業】 ・魚津市本江地域交流センターの建築主体工事、機械設備工事、電気設備工事、外構工事を実施し、令和5年8月1日に供用開始しました。 ・(仮称)上野方複合施設の整備に向け地域や関係機関と協議を行いました。 ・統合により閉校となった小学校跡地の利活用について、地域振興会と協議を行いました。		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
魚津市審議会等の委員のうち 公募委員の割合	%	1.1	1.1	1.8 1.4	2.6 1.5	3.4 1.4	4.2	5.0	10.0

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)							
No.	会計名	事務事業名	令和5年度				担当課
			予算現額(円)	決 算 額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	予算なし	企画政策課所管助成制度申請事務	0	0	0	-	企画政策課
2	一般会計	○ 住民自治推進事業	60,908,000	58,523,714	2,384,286	A	地域協働課
3	一般会計	上中島多目的交流センター管理事務	14,840,000	14,488,000	352,000	-	地域協働課
4	予算なし	○ うおづまちづくりふれあい講座事業	0	0	0	A	地域協働課
5	一般会計	○ まちづくり交付金事業(地域特性事業)	44,673,000	44,124,103	548,897	A	地域協働課
6	一般会計	○ 地域拠点施設整備事業	11,250,000	10,195,272	1,054,728	B	地域協働課
7	一般会計	選挙管理委員会事務	488,000	280,236	207,764	-	総務課
8	一般会計	魚津市議会議員選挙及び魚津市長選挙	10,304,000	2,388,534	7,915,466	-	総務課
9	一般会計	富山県議会議員選挙執行事務	10381000	9306375	1074625	-	総務課
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			152,844,000	139,306,234	13,537,766		

基本事業概要シート②									
施策 No.	1	施策名	市民参画・協働の推進						
基本事業名		②市民協働活動・男女共同参画の推進							
基本事業の目的(意図)		地域振興会による地域課題解決のため協働の主体となる多様な団体への支援を行うとともに、すべての人が互いを認め、尊重し合う社会を形成するため、男女共同参画意識の醸成に努めます。							
令和5年度における 主な事業内容(活動内容)		【男女共同参画推進事業】(施策4②再掲) ・魚津市男女共同参画推進市民委員会会議を1回開催し、第4次男女共同参画プランの事業報告と情報交換を行いました。 ・男女共同参画地域推進員による定例会・学習会を10回開催し、広報誌を1回発行しました。 ・男女共同参画の普及啓発活動として、ケーブルテレビで「知ってる？男女共同参画」の製作・放送や市民への男性の家事育児参加を促進することを目的とした子育てパパのネットワークづくり事業として「はじめましてのパパ友交流会」を実施しました。 ・令和4年10月からの「産後パパ育休」制度に併せ、男性の育児休業取得率の向上を目的に「男性の育児休業取得促進補助金」を創設し、育児休業取得者45名と事業所9社へ各5万円を交付しました。 【NPO・ボランティア活動促進事業】 ・市内のNPO・ボランティア団体における情報の把握と共有に努めるとともに、魚津市ボランティア連絡協議会へ助言を行いました。 ・市民が主体となったまちづくりを進めるため、市と協働して団体が実施する地域課題解決事業等のほか、複数の団体が連携、協働して地域活性化や課題解決に取り組む事業に対して補助金を交付する「ともにつくるまち」促進事業補助金を創設しました。 ・若者を主体とした市民団体が実施する課題解決事業、関係人口創出事業のほか、若者同士の仲間づくりや交流事業、市の魅力発信事業等に取り組む事業に対して補助金を交付する「若者のまちづくり活動応援事業補助金」を創設し、1団体が提案、実施しました。 【市民協働推進事業】 ・市と魚津市自治振興会連合会が主催となり、各地域振興会、社会福祉協議会、市内の高校や大学と協働して、まちづくりフォーラムを開催し、約200名が参加した。各団体の活動のパネル展示や5団体からの活動発表を行ったほか、基調講演では一般社団法人とやまのめ代表理事の中谷幸葉氏を講師に迎え、「人と地域をイキイキの連鎖でつなぐ」との演題で地域と若者の参画のあり方などについてお話をいただきました。 ・また、まちづくりフォーラムで掲示した20団体の活動パネルは、市内ショッピングセンター等(4か所)に掲示し、地域活性化の活動を広く市民へ周知しました。 【住民自治・市民協働推進事業】 ・市広報を自治会長宅へ配送するため、随時折込業者や配送業者と打ち合わせを行い、円滑な配送を行いました。 【コミュニティセンター管理費】 ・大町及び片貝コミュニティセンターの指定管理者の令和6年度からの指定管理者更新に向けて、大町コミュニティセンター及び片貝地域振興会と、指定管理者の手続き等について協議を行い、第2期の指定管理者として指定しました。(指定期間:令和6年度から3年間)							

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
公的な委員会、審議会等の 女性委員の比率	%	27.7	27.9	28.0	31.0	34.0	37.0	40.0	40.0
				27.8	27.7	26.7			
ボランティア団体・NPO法人の 団体数の人口割合	‰	2.0	1.8	2.0	2.1	2.1	2.1	2.1	2.2
				1.9	1.9	1.9			
	団体	85	76	85	85	85	85	85	85
				77	77	77			

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)							
No.	会計名	事務事業名	令和5年度				担当課
			予算現額(円)	決 算 額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	魚津市表彰事業	668,507	637,837	30,670	-	企画政策課
2	一般会計	○ 男女共同参画推進事業	4,970,000	3,290,020	1,679,980	B	地域協働課
3	一般会計	○ NPO・ボランティア活動促進事業	1,013,000	211,390	801,610	B	地域協働課
4	一般会計	○ 市民協働推進事業	472,000	266,280	205,720	A	地域協働課
5	一般会計	○ 住民自治・市民協働推進事業	3,083,000	2,965,018	117,982	B	地域協働課
6	一般会計	○ コミュニティセンター管理費	52,064,000	50,637,983	1,426,017	A	地域協働課
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
合 計			62,270,507	58,008,528	4,261,979		

基本事業概要シート③

施策 No.	1	施策名	市民参画・協働の推進
基本事業名	③人権の尊重と非核・平和		
基本事業の目的(意図)	人権尊重の理念を普及啓発する活動や人権教育を推進するとともに、人類が恒久に平和であるよう非核・平和に対する意識向上を図ります。		
令和5年度における 主な事業内容(活動内容)	【非核・平和事業】 ・市内小中学校での「戦争と平和についてのおはなし会」の開催、市広報等による黙とうの呼びかけ、図書館において原爆のポスター展の開催など、非核平和の重要性について市民への啓発を図りました。 【人権啓発事業】 ・法務局、人権擁護委員及び魚津保護区保護司会と連携し、小学校での「人権教室」の開催などを通じて人権擁護の啓発を図りました。 ・「社会を明るくする運動」に取り組み、小学校等での啓発など、犯罪・非行のない安全・安心の社会づくり構築も含め、人権教育に努めました。		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
戦争と平和についてのお話会の開催回数	回	1	2	3 7	3 8	3 6	3	3	5

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)							
No.	会計名	事務事業名	令和5年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 非核・平和事業	12,000	7,276	4,724	A	企画政策課
2	一般会計	○ 人権啓発事業	353,000	313,920	39,080	A	市民課
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			365,000	321,196	43,804		

施策 No.	1	施策 名	市民参画・協働の推進
令和5年度の評価結果(基本事業の成果を考慮し記載)			1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述) 【①市民参画の環境づくり】 ◆「審議会等の委員に対する公募委員の割合」は、1.4%(前年度比0.1%減)で、目標値を下回っています。 ◆「まちづくりふれあい講座の実施回数」は、38回(前年度比11回減)実施されています。 【②市民協働活動・男女共同参画の推進】 ◆「ボランティア団体・NPO法人登録数」は、前年度と同じ77団体となり、目標値の85団体を下回っています。 ◆「ボランティア団体・NPO法人の団体数の人口割合」は、1.9%(前年度同数)で、目標値の2.1%を下回っています。 ◆「公的な委員会、審議会等の女性委員の比率」は、26.7%(前年度比1ポイント減)で、目標値の34.0%を下回っています。 【③人権の尊重と非核・平和】 ◆「戦争と平和についてのお話会の開催回数」は、6回となり、目標値の3回を上回っています。 2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (令和5年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述) 【①市民参画の環境づくり】 <住民自治推進事業> ◆令和6年4月の市内全地区公民館のコミュニティセンター化に向けて、コミュニティセンター検討委員会を開催して今後の課題などを整理しました。また、コミュニティセンター化について市民向けのチラシ等を作成するとともに、今後の施設の指定管理者制度の導入に向けた方向性を決めました。 <まちづくり交付金事業(地域特性事業)> ◆まちづくり交付金事業について、各課でそれぞれ支援していた事業等(松倉城跡公衆便所等清掃業務、入場門広場維持管理、のろし祭り補助)を統合するなどの見直しを図り、地域振興会の自主性と創意工夫により活用できるように努めました。 ◆新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、地域での各種イベント・行事が徐々に再開される中で、従来の運動会や敬老会等の行事のほか、コミュニティセンター施設を活用したマルシェ(片貝地区:山の上のマルシェ2023)など、新規のイベントとして新たに開催されるなど、地域の特色ある活動が行われました。 <地域拠点整備事業> ◆魚津市本江地域交流センター建設事業において、近隣住民や本江地区振興会と協議しながら、建築主体工事、機械設備工事、電気設備工事、外構工事を実施し、令和5年8月1日に供用開始しました。 ◆(仮称)上野方地域複合施設の整備に向け、社会福祉協議会や上野方地域振興会と協議を行いました。 【②市民協働活動・男女共同参画の推進】 <男女共同参画推進事業> ◆各種事業を開催することにより、市民の男女共同参画意識の高揚が図られました。 ◆「男性の育児休業取得促進補助金」は、県の補助金と同様の補助要件を設定しており、「イクボス企業同盟とやま」に新たに3団体が登録を行い、全体で22団体となりました。 <NPO・ボランティア団体促進事業> ◆若者のまちづくり活動応援事業では、事業提案を行った1団体を採択し、事業を実施した。UOZUMYUプロジェクトは、桃山運動公園スケートボード場において、若者文化であるミュージカルアートとスケートボードイベントを実施しました。市内外から多くの参加があり、若者の交流の場が創出され、施設の認知度や魅力向上にもつながりました。 <市民協働推進事業> ◆魚津市自治基本条例が目指す市民が主体となった自治の実現に向けての先進事例の紹介や今後の進め方についてのまちづくりフォーラムを開催し、市民と市が協働のまちづくりを進める意識の醸成が図られました。 【③人権の尊重と非核平和】 <人権啓発事業> ◆人権擁護委員による人権相談や啓発活動、保護司会を中心とした社会を明るくする運動などの活動を行うことにより、人権に対する意識啓発を促しました。 ◆性の多様性(LGBT)について理解を深めるために、専門家の講演とLGBTの当事者の体験談を聴く研修会を開催し、窓口職員を中心に19名が参加しました。 3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末に残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述) 【①市民参画の環境づくり】 ◆(仮称)上野方地域複合施設の建設事業について、上野方地域振興会や魚津市社会福祉協議会と施設を拠点とした地域の活性化について協議を進めていきます。 ◆松倉地区の拠点施設整備について、その規模や機能を松倉自治振興会と協議していきます。 ◆大町、上中島地区の小学校跡地の利活用に関して、引き続き、地域の関係者と協議していきます。 ◆市民参画協働の推進のため、市民が魚津市自治基本条例をより身近に感じてもらえるよう、CATV等を活用し、条例のさらなる周知に努めます。 ◆まちづくり交付金を増額して「上乗せ応援加算枠」を設定するなど、地域の自主性及び特性を活かした活動をさらに支援していきます。 ◆地域振興会の役割等を明確化するため、魚津市市民自治推進会議を開催して魚津市自治基本条例の見直し等を含めた協議を行います。 ◆自治振興会連合会では、先進的事例を学ぶ視察研修を通じて、各地域の指定管理制度導入やコミュニティビジネスへの取り組みなど、各地域振興会等における今後の方向性を検討していきます。また、地域振興事務員に対する研修や説明会等を通じて、指定管理者制度導入に関する知見と理解の向上に努めます。 【②市民協働活動・男女共同参画の推進】 ◆市民等と市が協働して地域課題の解決や若者同士の交流事業等への取り組みに対する補助事業「ともにつくるまち促進事業」と「若者のまちづくり活動応援事業」を実施し、市民が主体となったまちづくりを進めていきます。 ◆男女共同参画地域推進員の各種活動や「男性の育児休業取得促進補助金」の実施を通じ、市民へ男女共同参画の必要性、重要性の周知を行います。 ◆魚津市男女共同参画プランの事業展開及び指標を達成するため、「魚津市男女共同参画推進市民委員会」を開催して、現状の把握と実施状況を報告していきます。 【③人権の尊重と非核・平和】 ◆人権に関する相談は、DVやいじめといった関係部署との連携が欠かせない事例が多いため、今後も関係部署と情報共有を行い、支援体制強化に努めます。 ◆性の多様性について、市ホームページや広報紙等により情報提供し、市民の理解を深めていきます。